

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：5年2月23日

事業所名：こども学舎 羊の門

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	放課後等デイサービスにおいて、小集団を毎回行える利用定員と訓練室等のスペースを確保している。	はい…88% わからない…12%	保護者様にご見学して頂ける機会や時間をさらにご提供し、ご理解をいただけるよう説明して参ります。
	2 職員の適切な配置	管理者1名、児童発達支援管理責任者1名、児童指導員3名、保育士2名の体制で配置している。	はい…88% わからない…12%	保護者様にご見学して頂ける機会や時間をさらにご提供し、ご理解をいただけるよう説明して参ります。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	1階に訓練室、トイレ、手洗い場がある。また、各部屋において段差はなく、玄関の上がり幅も15cmに設定しており、児童様も昇降しやすくなっている。各部屋は事務室との距離が非常に近く、利便性・情報伝達にも長けている。	はい…75% どちらともいえない…13% わからない…12% 保護者様より…1度しか行ってないのでわからない	保護者様にご見学して頂ける機会や時間をさらにご提供し、ご理解をいただけるよう説明して参ります。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日、全ての部屋、トイレの清掃を行い、次亜塩素酸水で消毒を行っている。訓練室にはジョイントマットを敷き、清潔と緩衝性も確保している。	はい…88% わからない…12%	保護者様にご見学して頂ける機会や時間をさらにご提供し、ご理解をいただけるよう説明して参ります。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	児童発達支援管理責任者を中心に利用児童様や保護者様への支援を考えた職員での話し合いを積極的に行っている。		今後はさらに支援会議に時間をとれるように考え、利用児童様のサポートを行ってまいります。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在、外部評価は行ってないが、地域の大学さまとの連携を行い、講師の方からご意見をいただいている。		必要に応じて、第三者による外部評価を実施させていただきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部への研修参加や法人内での研修開催を積極的に行っている。		今後も継続してまいります。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	児童様のニーズは支援中に、保護者様のニーズはお迎え時や送迎時に傾聴し、職員間で共有している。また、児童様や保護者様の見学や体験および相談をお受けすることで、児童発達支援管理責任者を中心に職員が考察した内容を踏まえ、作成している。	はい…100% 保護者様より…計画をしっかり立てて課題をくださるおかげで、苦手な事もできるようになって嬉しく思う	今後も継続してまいります。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	児童様それぞれに合った個別活動及び小集団活動の支援計画を作成し、保護者様に確認および同意を得ることとしている。		今後も継続してまいります。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	児童発達支援管理責任者を中心に1、2の状況を職員間で共有・協議し、かつ具体的な支援内容を記載している。		今後も継続してまいります。
適切な支援の提供 t (続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画に沿った支援を行うとともに、その日の児童様の様子や状況を考慮しながら、支援と療育を実施している。	はい…100% 保護者様より…必要な支援のおかげで、出来る事が沢山増えたと感じている	今後も継続してまいります。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	管理者、児童発達支援管理責任者を中心に、支援員によるプログラムを児童様おひとりおひとりの状態や状況に応じて立案している。		今後も継続してまいります。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	来所していただく児童様の時間や状況に応じて、支援を行っている。何よりも、まずは第一に児童様が楽しみながら活動に取り組んでいただくことを意識している。	はい…88% わからない…12%	今後も継続してまいります。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	児童様おひとりおひとりの状況や様子、環境を伺いながら、関心があるもの、興味を示しているもの、表出している言語や動作を見極め、活動プログラムの工夫をしている。		今後も継続してまいります。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	児童発達支援管理責任者を中心に、前日には翌日の支援スケジュールや役割分担を決定し、全職員にスケジュール表にて伝達している。支援開始前には前回の支援内容等を周知し、職員間での児童様の状態等も周知し合う体制をとり、職員間での支援内容の案を出し、話し合いを行っている。		今後も継続してまいります。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	訓練室と事務室が直結または隣接しているため、支援終了後には、気付いたこと等を直接支援した職員間同士や様子を観察していた職員も加わり、その場で話し合いや振り返りの時間としている。		今後も継続してまいります。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	児童様に直接支援を行った職員が日々の記録をし、その他の職員が気付いた点等を記載している。また、記録を全職員が都度、見返すことで、支援内容の検証や児童様等の目的・目標にあったプログラム立案を常に考案している。		今後も継続してまいります。
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	全指導員が全ご利用児童様に支援を提供させていただいている。そのため、直接的または間接的支援の立場から職員に児童様の現在の様子を伺うことが可能である。また、保護者の都合を優先するモニタリングを基本としている。上記を踏まえ、計画の見直しを行っている。		今後も継続してまいります。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	支援内容の統括者である児童発達支援管理責任者が担当者会議に出席している。		今後も児童発達支援管理責任者を中心に、直接支援職員も担当者会議に出席することを検討しかつ全職員が精通出来る体制を変わずに整えてまいります。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	令和5年2月現在、医療的ケアの必要な児童様や重症心身障がいをお持ちの児童様への支援は行っていない。		今後、多くの児童様へ支援を行う立場を設けさせていただく場合は、協議してまいります。
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	令和5年2月現在、医療的ケアの必要な児童様や重症心身障がいをお持ちの児童様への支援は行っていない。		今後、多くの児童様へ支援を行う立場を設けさせていただく場合は、協議してまいります。
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間で支援内容等の十分な情報共有	令和5年2月現在、行っていない。		今後、必要となれば情報を共有してまいります。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	令和5年2月現在、学校を卒業し、障がい福祉サービス事業所等へ移行する年齢層の児童様はご利用されておりません。		今後、放課後等デイサービスにて障がい福祉サービスに移行するような年齢層の児童様を支援させていただいた場合には、様々な状況に応じて、必要となれば情報共有を行ってまいります。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	令和5年2月現在、行っておりません。		今後、機会をつくり、研修等に参加してまいります。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	令和5年2月現在、左記のような提供を主として行っていないが、毎月1度のイベントの開催(障がいの有無は問わず地域の児童様も参加可能)や運動支援時には散歩や公園にて地域の児童様と交流する場を設けている。	はい…12% いいえ…12% わからない…76%	現在の社会情勢等を慎重に見極めながら、実施可能であれば、地域に当事業所のイベントの告知や宣伝を行い、交流する機会を更に設けてまいります。今後もイベントは定期的に開催し、なおかつ運動支援時の散歩や公園へ向かう機会を保つよう意識してまいります。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	SNSやチラシ作成・配布等にて行事を宣伝・報告し、地域の方にも参加していただけるようなメッセージを発信している。	はい…100%	左記の運営を維持しながら、今後は更に周知していただくために、地域に寄り添った時間や貢献を高めることが出来るような事業所になるよう精進してまいります。
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	見学時や契約時、または相談時において、支援内容やご利用負担等について説明を行い、同意と了承をいただいている。	はい…100% 保護者様より…毎回、丁寧に説明がある	今後も継続してまいります。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画書を提示するとともに、支援内容の詳細を説明させていただき、質疑応答の時間を持ちながら、同意と了承をいただいている。	はい…100%	今後も継続してまいります。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレント・トレーニングは主として行ってはいるが、面談時に児童様と一緒にトレーニング出来ること等を説明することや、イベント内容によっては保護者様へ参加を促す機会を設けている。また、保護者様へ利用日の支援内容を説明し、ご自宅で行えるトレーニング等の提案も行っている。	はい…25% どちらともいえない…25% わからない…50%	ペアレント・トレーニング支援の提供に向けて、保護者へアンケートを実施し、ご意向を伺い、実施の有無を考えてまいります。
	4 子どもの発達状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	児童様ご利用された当日は支援終了後に、必ず5～10分程度、保護者様へ支援した内容や児童様のご様子をご説明しご報告している。また、支援時間内でも見学可能となっているため、見学時にも保護者様との話し合いの場を設けている。	はい…100% 保護者様より…①満足している ①アドバイスももらえて大変助かっている	今後も継続してまいります。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	事業所内にて面談は定期的に行っているとともに、電話や見学時、送迎時においても実施している。	はい…100% 保護者様より…満足している	今現在より更に相談しやすい環境を作るとともに、職員の資質向上に努めてまいります。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	令和5年2月現在、感染症蔓延下にあり、主だった開催はしていない。	はい…13% いいえ…50% わからない…37% 保護者様より…現状では特に問題なく感じている	現在の状況を慎重に見極めながら、保護者様より要望等あれば、検討し開催に努めてまいります。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約時に保護者様へ説明するとともに、苦情やその他気になる点についての措置の概要を作成している。また、ご意見箱も設置し、何時でも対応が出来るようにしている。	はい…38% わからない…62% 保護者様より…①苦情がいつものところない ①そのような場面に遭遇したことがない	より一層、丁寧な説明と報告を行っていくとともに、どのような事でもご相談をいただける場を提供できるように職員一同精進してまいります。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	おひとりおひとりの特性や個性を尊重し、3つのコミュニケーション技法を活用し、情報伝達を行っている。また、その都度の状況や環境に応じた対応も行っている。	はい…75% どちらともいえない…25% 保護者様より…連絡ノートのようなものがないので、利用当日に伝えておきたいことがある場合、ノートがあってもいいのかなと感じる。現在は電話で伝達している	児童様を第一に考え、保護者様それぞれに連絡ノート作成のご希望等を改めて伺いし、職員で協議し、情報伝達等に配慮してまいります。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	活動概要はパンフレットをはじめとするとともに、SNSでの発信も行い、どなたでも閲覧可能としている。行事予定等は口頭伝達、チラシのお渡しをしている。また、連絡体制については、今現在、管理者および児童発達支援管理責任者が主となり行っている。	はい…75% どちらともいえない…13% わからない…12%	今後も直接、保護者様にお伝えすることを第一に発信してまいります。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報取り扱いに対する指針を示し、職員間での個人情報取り扱いに対する十分な対応の周知徹底や細心の注意を払うとともに、個人情報の取り扱いについて、法人研修を開催している。	はい…75% わからない…25%	今後も継続するとともに、個人情報の漏洩が絶対にあってはならぬよう、職員間での確認・認識・協議を徹底的にすすめてまいります。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	左記のマニュアルを策定し、ラミネートにて保存している。また、契約時にマニュアルの存在をお伝えし、確認をしている。職員間でも周知徹底に努めている。	はい・・・75% わからない・・・25%	今後も継続してまいります。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に1度の避難訓練を実施している。また、避難確保計画書を作成し、当事業所で周知徹底しているとともに、行政が主となる研修にも参加している。	はい・・・75% わからない・・・25%	保護者様に避難訓練等の実施を明確に示し、ご理解いただくとともに、避難確保計画書に明記している対応等を説明し、運営に安心を抱えていただくように精進してまいります。
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	虐待防止委員会等を設置し、1年に1度、法人内での全体研修を開催している。外部研修を必ず受講し、報告書を作成している。職員間で日頃から話し合い協議している。新入職員への研修も開催している。		今後も継続してまいります。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	令和5年2月現在、身体拘束および虐待を行った事実も行為もないが、契約時に説明を行い、同意と了承を得ている。また、万が一、やむを得ず、身体拘束を行う場合は、保護者様への説明、委員会の開催、協議、3つのやむを得ない状態が明確であること等を書面に記し、日々の記録に明記することを行う。		今後も継続してまいります。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	基本的に、食べ物の提供は行っていないが、保護者様への聞き取りやかかりつけ医等の指示書や診断書の有無の確認を行っている。		食べ物を提供する場合は、前以てアレルギーや医師の指示書等の有無を確認し、協力医療機関等との連携を行えるようにしてまいります。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事業所内にてヒヤリハット・インシデント報告書の型を作成し、些細な状況や場面でも、ヒヤリに繋がると感じたなら、事例を作成し、事業所内で共有している。		どのようなことでも、「気付き・気付く」ことを意識し、共に報告し合いながら、ヒヤリハットを積み上げ、インシデントに繋がらないように取り組んでまいります。